

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【公開番号】特開2019-76165(P2019-76165A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-203217(P2017-203217)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月13日(2021.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の発射操作により発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有した遊技盤と、
外枠と、

前記外枠に対して開閉可能に設けられていると共に、前記遊技盤が取付けられる本体枠
と、

を具備し、所定の遊技制御手段により遊技に関する制御が行われる遊技機において、
前記遊技領域に設けられた所定の入賞口への入賞に関する入賞情報と、前記遊技盤から
排出される遊技球に関する排出情報とに基づいて、特定情報の表示制御を行う特定情報表
示制御手段と、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出される遊技球を検知可能なセンサ部と、
を備え、

前記排出情報は、前記遊技盤から排出された遊技球が前記センサ部を通過することで更
新されるものであり、

前記本体枠から遊技球を排出する際には、前記外枠よりも後方に遊技球を放出可能であ
り、

前記特定情報は、前記遊技制御手段が収容される収容ケース内で表示されるものであり、

前記本体枠から遊技球を排出する通路の出口部には、遊技球の落下方向を後方に変化さ
せうる誘導片が形成され、

前記誘導片は、先端部分が前記出口部の開口辺のうち遊技機前方側の開口辺を形成する
とともに後方に突出した形状とされる
ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技者の発射操作により発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有した遊技盤と、
外枠と、

前記外枠に対して開閉可能に設けられていると共に、前記遊技盤が取付けられる本体枠
と、

を具備し、所定の遊技制御手段により遊技に関する制御が行われる遊技機において、
前記遊技領域に設けられた所定の入賞口への入賞に関する入賞情報と、前記遊技盤から

排出される遊技球に関する排出情報に基づいて、特定情報の表示制御を行う特定情報表示制御手段と、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出される遊技球を検知可能なセンサ部と、
を備え、

前記排出情報は、前記遊技盤から排出された遊技球が前記センサ部を通過することで更新されるものであり、

前記本体枠から遊技球を排出する際には、前記外枠よりも後方に遊技球を放出可能であり

、
前記特定情報は、前記遊技制御手段が収容される収容ケース内で表示されるものであり

、
前記本体枠から遊技球を排出する通路の出口部には、前記センサ部を支持する所定の支持部材が設けられ、

前記支持部材は、前記出口部と共に前記外枠よりも後方に位置する
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

この種の遊技機として、遊技盤を前方から着脱可能に保持していると共に払出装置が取付けられている本体枠において、遊技盤よりも下側の部位に、遊技盤から排出された遊技媒体（アウト球）を受取って遊技機外へ排出するものが知られている（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、従来の遊技機は、アウト球等の検知に関し、遊技機の信頼性が不十分であった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献1】特開2011-212121号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技機の信頼性を高めることを課題とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、本発明においては、

遊技者の発射操作により発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有した遊技盤と、
外枠と、

前記外枠に対して開閉可能に設けられていると共に、前記遊技盤が取付けられる本体枠
と、

を具備し、所定の遊技制御手段により遊技に関する制御が行われる遊技機において、
前記遊技領域に設けられた所定の入賞口への入賞に関する入賞情報と、前記遊技盤から
排出される遊技球に関する排出情報とに基づいて、特定情報の表示制御を行う特定情報表
示制御手段と、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出される遊技球を検知可能なセンサ部と、
を備え、

前記排出情報は、前記遊技盤から排出された遊技球が前記センサ部を通過することで更
新されるものであり、

前記本体枠から遊技球を排出する際には、前記外枠よりも後方に遊技球を放出可能であ
り、

前記特定情報は、前記遊技制御手段が収容される収容ケース内で表示されるものであり
、

前記本体枠から遊技球を排出する通路の出口部には、遊技球の落下方向を後方に変化さ
せうる誘導片が形成され、

前記誘導片は、先端部分が前記出口部の開口辺のうち遊技機前方側の開口辺を形成する
とともに後方に突出した形状とされる

ことを特徴とする。

また、遊技者の発射操作により発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有した遊技盤
と、

外枠と、

前記外枠に対して開閉可能に設けられていると共に、前記遊技盤が取付けられる本体枠
と、

を具備し、所定の遊技制御手段により遊技に関する制御が行われる遊技機において、
前記遊技領域に設けられた所定の入賞口への入賞に関する入賞情報と、前記遊技盤から
排出される遊技球に関する排出情報とに基づいて、特定情報の表示制御を行う特定情報表
示制御手段と、

前記本体枠に設けられ、前記遊技盤から排出される遊技球を検知可能なセンサ部と、
を備え、

前記排出情報は、前記遊技盤から排出された遊技球が前記センサ部を通過することで更
新されるものであり、

前記本体枠から遊技球を排出する際には、前記外枠よりも後方に遊技球を放出可能であ
り、

前記特定情報は、前記遊技制御手段が収容される収容ケース内で表示されるものであり
、

前記本体枠から遊技球を排出する通路の出口部には、前記センサ部を支持する所定の支
持部材が設けられ、

前記支持部材は、前記出口部と共に前記外枠よりも後方に位置する
ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

手段1：遊技機において、

「遊技媒体が打込まれることで遊技が行われる遊技領域と、

該遊技領域に遊技媒体を打込むために遊技者が操作可能なハンドルと、

該ハンドルの軸芯を中心として遊技者の手指を挿入可能な大きさで筒状に形成されており、外周面における少なくとも下側を向いている部位で貫通している切欠開口部を有するハンドルフードと、

該ハンドルフードよりも後方且つ下方に設けられており、演出サウンドを出力するためのスピーカのエンクロージャ内と連通し、前記スピーカによる音圧を前記切欠開口部へ向かって放出可能なスピーカダクトと

を具備している」ものであることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0109

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0109】

本発明によれば、遊技機の信頼性を向上させることができる。